めあて　●ディープフェイクの問題性を知り、スマートフォンの安全な使い方を身に付ける。

解答

埼玉県警察サイバー局

ぼうはん **防犯**

ネット犯罪から身を守る

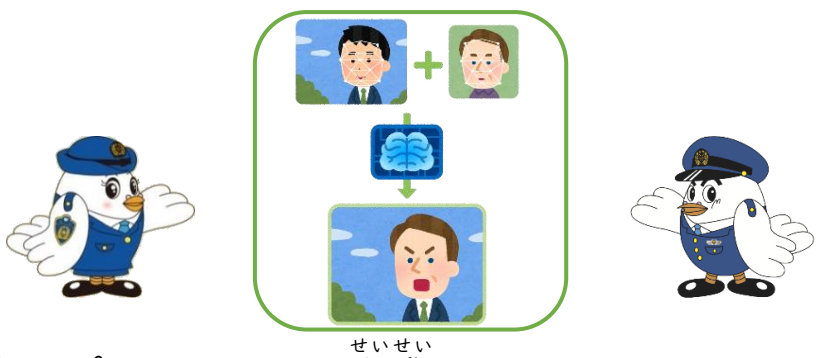
ディープフェイク



なまえ　　年　組　番

点

1 次の文章を読んで、正しいものを選び○で囲みましょう。（1問5点：15点）



▸「ディープフェイク」とは、生成AIなどにより

{ 整理、整頓 ・ コピー&ペースト ・ 合成、加工 }

された偽の画像、動画、音声などのことである。

▸「ディープフェイク」のうち、写っている人の同意がなく、服を脱がされた画像などに作り替えたものは、一般的に

{ ハルシネーション ・ 性的ディープフェイク ・ プロンプト }

と言われている。

▸「ディープフェイク」による、「なりすまし」や「詐欺」などの

{ 犯罪被害 ・ ゼロデイ攻撃 ・ 怪奇現象 }

が大きな問題になっている。

2 次の説明文を読み、正しいものには○、間違っているものには×をつけましょう。（1問5点：25点）

① 後輩と一緒に撮った写真をSNSに投稿するとき、後輩から同意を取っていれば、トラブルになることは絶対に無い。　（×）

② 画像を加工した場合、加工者に権利が認められるので、元々の画像の作者や写っている人の権利は関係ない。　（×）

③ SNSなどで投稿されている画像を元に、ディープフェイクを作られる可能性がある。　（○）

④ ディープフェイクは生成AIなどを利用すると誰でも作ることができるので、一人一人のモラルが重要である。　（○）

⑤ ディープフェイクは、偽の情報だから対象となった人の心が傷つくことはない。　（×）

3 友達(中学生)の写真を使って性的ディープフェイクを作り、SNSに投稿した場合、適用される可能性のある犯罪名4つに○をつけましょう。（1問10点：40点）



- 暴行罪
- 名誉棄損罪
- 文書偽造罪
- わいせつ物頒布等罪
- 児童ポルノ禁止法違反
- 侮辱罪



4 インターネット上のトラブルや犯罪に巻き込まれないようにするにはどうすれば良いか、下のみんなの意見を踏まえ、自分の考えを書きましょう。(20点)



インターネットやSNSを使わないとか、今の時代、できないよ！

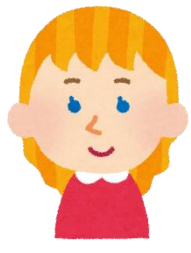


インターネットやSNSは正しく使えれば便利だからね！



みんなでルールとかマナーを守れば、大丈夫かな？

思いがけず、加害者にならないように使い方を身に付けよう！



例　インターネットやＳＮＳを使う全ての人がルールやマナーを守って、正しい使い方を身に付ける

うら面へ

うら　めあて　●ディープフェイクの問題性を知り、スマートフォンの安全な使い方を身に付ける。

解答

埼玉県警察サイバー局

ぼうはん 防犯

ネット犯罪から身を守る

ディープフェイク



なまえ　　年　組　番

点

5 友達がディープフェイクの被害にあった時の対処方法について話しています。正しい意見の記号（㋐～㋓）をすべて選びましょう。（20点）

㋐



SNSの運営会社に画像の削除をお願いした方がいいんじゃないかな？

㋑



はずかしいけど、身の危険を感じたり、不安だったら、すぐ警察に相談だよ！不安な気持ちが続くより良いと思う！

㋒



投稿しているアカウントにメッセージを送って、削除するように言った方が手っ取り早いだろ？ついでに少し文句を言ってやろうよ!!

㋓



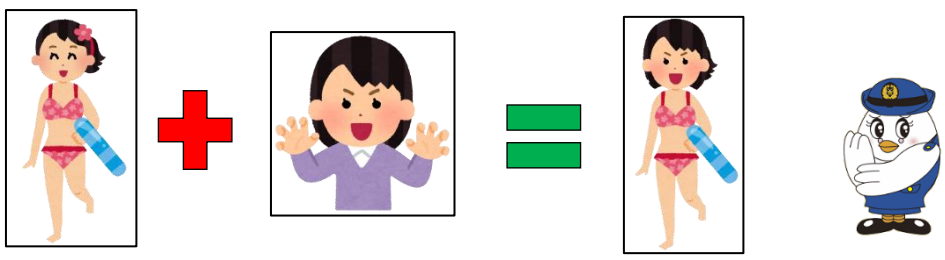
嫌だけど、投稿しているアカウントとか投稿されている状況をスクショしたりして、記録しないとだよね。



答え　㋐㋑㋓

6 次の文章を読んで、各問題に答えましょう。

あなたと同じクラスの友達がスマホを見ながら、「見てよ。クラスの女子のフェイク画像がSNSで流れてきたんだけど、おもしろいからクラスのみんなに送っとこ！」と言ってきました。



① あなたは友達に拡散をやめるよう説得しようと考えました。何と言って説得しますか？（15点）

例　拡散させることも犯罪になるかもしれないから絶対にやめなよ！

② フェイク画像が作られていることをクラスの女子に知らせる方が良いのでしょうか？「知らせる」か「知らせないか」を選び、その理由を記載しましょう。（上の問5点、下の問10点：15点）

知らせる　　知らせない

例　事業者への削除依頼や法律的な対応など、本人しかできないことがあったり、危険が迫っている場合があるため

ネットリテラシーを身に付けましょう

現代では、技術の進歩によりスマートフォン１台で誰でも簡単に画像や動画などの加工・生成ができるようになりました。しかし、その技術を悪用した「ディープフェイク」が深刻な問題になっています。「軽い悪ノリ」「ネットで拾ったから」では済まされません。

あなた自身や大切な人の未来を守るため、正しい知識やモラルを身に付けましょう。

【加害者にならないために】

友人の写真を同意なく合成したり、ネットの捏造画像を拡散する行為は、罪に問われる可能性があり、自らの未来を奪うことになりかねません。絶対にやめましょう。

【被害にあわないために】

ＳＮＳで投稿したものは、フェイク画像などの素材に使われるおそれがありますので、公開範囲を限定するなど、写真の投稿は慎重に行いましょう。

このほか、様々なトラブルや犯罪に巻き込まれないために、サイバーセキュリティに関する以下の情報サイトを活用してください。

サイバーテスト回答はこちら!!

埼玉県警察サイバー対策課公式Ｘ



犯罪被害者等支援ポータルサイト「ギュっとCH」

